

講演会の感想

- ・住民の意志の改革が必要である。病気にならない様に注意する。意志の負担を少なくするよう住民の協力が大切である
- ・地域医療の重要性を再認識できました
- ・自分の健康をしっかり管理することが地域医療の活性化につながるということが分かりました。医者立場に立って、自分本位にならないようにすることが大切だと思いました。
- ・高齢者の割合が 30%を超えていた平戸の直面する状況と、それをチャンスととらえて公からの高齢化社会を支える医療モデルを考えていこうとする動きを知ることができました。また、日本における医師達の過酷な状況を知り、患者としての自分自身を見つめ直してみようかと考えました。
- ・住民も今の危機的状況、現状を知って欲しい。今回のような講演会に出来るだけ参加し情報を得る。講演された伊関先生の言葉で「住民の意識改革を行う」まさにそうだと思います。へき地には総合医が必要だと思います。
- ・自分の健康は自分で守る、心掛けることの大切さを改めて考えさせられたと思う。自分自身は 100%健康とは言えないと思うがこれからも健康で過ごせるように食生活の改善を特に重点にしていけたらと思う。
- ・調先生のお話、興味深くおもしろかった。やっと市民病院が何に取り組んでいるのか何となく分かった。
- ・医療（地域医療）について今まで深く考えていなかったが、今日は特に伊関友伸先生の講演で広く多くのことが理解できて大変勉強になった。
- ・「再生への処方箋」の話は大変良かった。住民にも責任があることをよく指摘してくださいました。
- ・不要な受診は住民も考えなければいけないと思う。しかし今日の講演では医者を大切に！！ということを取り返されたように思います。なにより、信頼される医者を私達は求めています。医者だけが大変ではないと思います。
- ・Dr 不足、Dr の勤務状況についてはかなり厳しいものがあると思います。・・・が本日の伊関先生のご講演では悲しいかな「他の職種でもそういう大変さ時と場合によってはそういうこともある！」と反発的？な気持ちになったのは私だけでしょうか。「医師を守る」に関する内容辞令などが過剰ではないでしょうか？
- ・伊関先生の講演に対して 医師は何をすべく医師になられたのか・・・医師の条件や要望を解決する視点がスタートラインになった講演。医師のその価値観をどう変えていくのかのスタートラインを見つけるべく先生に頑張って頂けたら頼もしい限りです
- ・伊関先生の講演はすごく勉強になりました。これからの医療のために住民意識の改善が

必要だとつくづく感じました。個々も自分も健康に気をつけたいと思いました。不安な患者さんがうちの病院も多いように感じました。

- ・伊関先生のお話を家族やまわりの人にも直接聞いて欲しいと思いました。私自身改めて地域医療を支え良い方向へ地域が再生していくために出来ることが身近にあるように感じました。
- ・地域医療に関して大学では聞けない話、患者が医師の立場に立って考えることについての話などが聞けて本当に来て良かったと思います。自分はへき地の医療に関心がありますが、やはり研修は友人のいるところ万ベルシステムが整っているところがいいというのが本音です。でも今日話を聞いて友人とは離れてもシステムが整っているへき地や病院を探す意欲が湧いてきました。
- ・このような取り組みを継続していただき、医師の確保をお願いしたい。住民が地域で質の高い医療を受けられるようにして頂きたい。
- ・全市民が参加しやすい講演会を開催されるという事を考慮されて企画頂いたと思います。ありがとうございました。大島にはCATVがあります、撮影が許されるなら後日参加できなかった人もTVでこのように参考になる話を聞くことが出来ます。隔地住民が学ばなければならないような内容だったと思います。
- ・伊関先生の話はおもしろかったです。社会学を学ぶことで多くのジェネラリストが生まれるのではと思います。
- ・これから医学への道を進もうと思っています。住民の立場から（住民の皆さんへの呼びかけ）というのが印象的でした。地域医療について知れて良かったです、総合医、家庭医について理解を深めていけたらと思います。
- ・地域医療の中で医療者だけでなく住民も当事者として医療の再生に携わっていくことが今後は必要と強く感じました。生活習慣病に対しても予防医療と併せて必要性を感じています。
- ・とても勉強になりました。TV で見ていたのでより身近に感じました。医療制度の仕組みやDrの育成に対する問題点など広範囲に知ることが出来ました。ありがとうございました。
- ・地域医療を守るためにそこで勤務するNSとしてそこに住む住民としても協力していかなければならないんだと考えさせられた。経営の面や超勤などで働くモチベーションがあがらないこともあるが、平戸に住む住民としても病院が活性化するようにもっと協力したいと思った。
- ・長崎県の現状や地域医療の現状がよく分かった。住民と一緒に地域医療を守ることが大切と感じる。少し時間が全体的に長かった。
- ・私達も「当事者」としての意識を持ち健康に気をつけて生きていかなければいけないと思いました。
- ・医療側（Dr など）と患者側の意見の差異。若手医師の研修が都会に集中するのは技術の

向上のため（自己的利権だけでなく）であること・・・地域で総合医を育てる意図を患者様にもよく理解された上で、医師や病院の側に対して配慮をして頂ければと思う。お互いに感謝し協力しあえる医療を目指していければと思う。

- ・医療の現場で叫ばれている医師不足はTVの中の話だけとと思っていましたが、本日の講演で危機を感じました。これからの日本の医療に不安を感じますが、「人任せ」は良くなく協力していく事が大切だと思います。皆さんで支え合うことが大切なのだと思いました。簡単な言葉ですが、ありがとうございました。
- ・地域における医師の人材確保がすごく大変だということが改めてわかった。地域の現場で総合医を育てるという考え方に感銘を受けた。超高齢化社会のモデル地区となりうるのではという考え方に目からうろこが落ちた。地域医療においては全国の医師不足まで影響を受ける事実にはショックを受けた
- ・地域における医師の苦勞が分かった。無医村になり住民もありがたさがわかったと思う。これから地域でDrを支えていきたい。良い講演でした。